

芦屋の里浜づくり会 第5回実行委員会

1. 「芦屋の里浜づくり」とは
2. 全体実施計画
3. 芦屋の里浜育成活動
4. 植樹の呼びかけ
5. 飛砂調査
6. 今後の予定

開催日時：平成26年9月10日 19:00～

場 所：芦屋町役場3階3-1会議室

1. 「芦屋の里浜づくり」とは

～背景と目的～

～背景～

芦屋港の建設以降、港の西側部分には**広大な砂浜が広がりはじめ**、以前は歩いてすぐにとどろつくことができた水際までの距離が100mを越えるところも見られる。また、**堆積した砂が背後地へ飛び**、問題を引き起こしている。

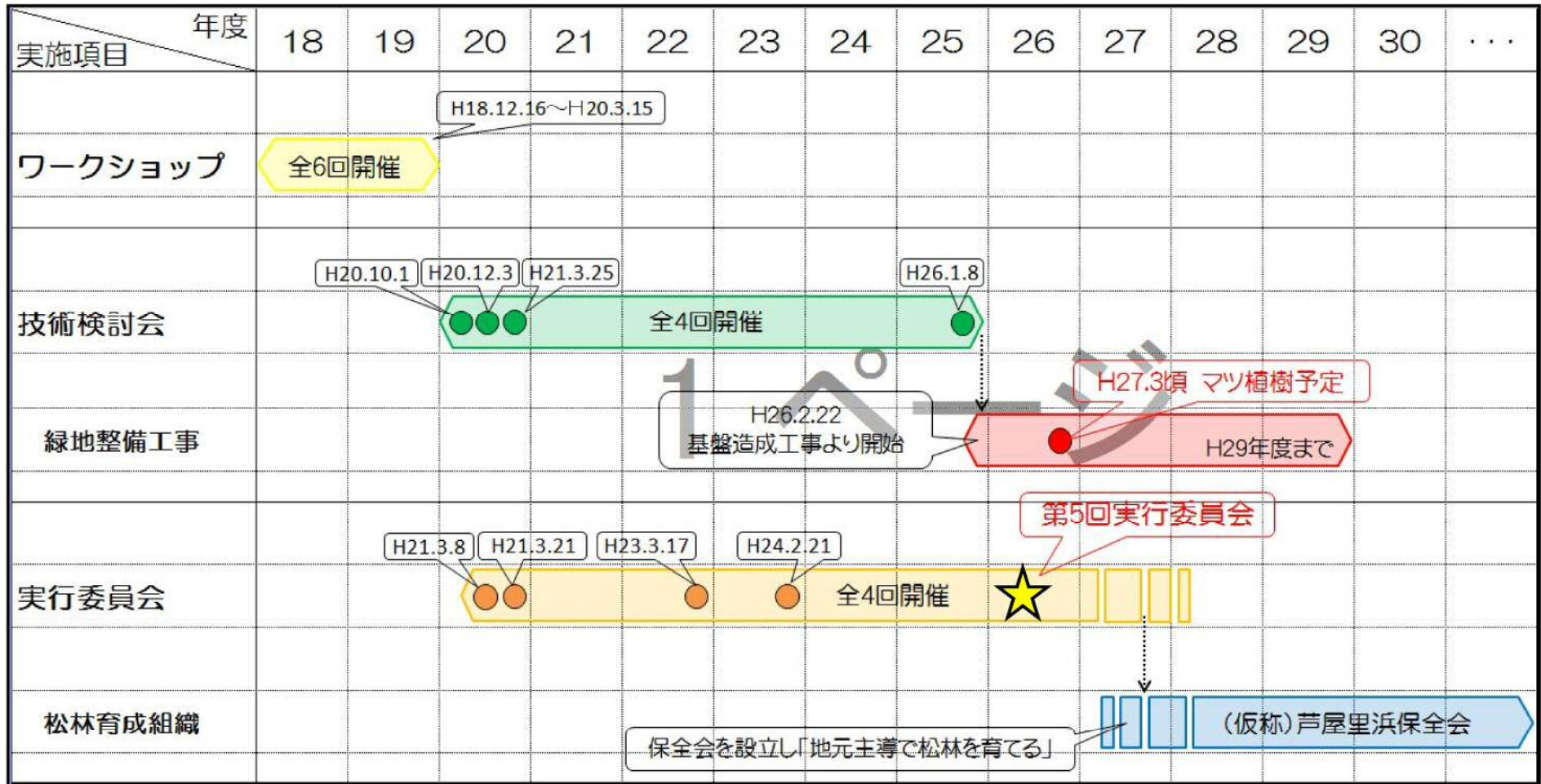


～目的～

こうした背景を踏まえ、H18年度～H19年度の2年間にわたり『芦屋の里浜づくりワークショップ』を開催し、芦屋海岸の理想の里浜像について話し合った。以後、かつての風光明媚な海岸であった芦屋海岸を思い出し、自分たちの海岸という認識で**「里浜づくり」**に取り組んで行くことになった。

1. 「芦屋の里浜づくり」とは

～里浜づくりの取り組み～



1. 「芦屋の里浜づくり」とは

～経緯～

【H18年～19年度にかけてワークショップを計6回開催】

1. **現況の地形（砂浜の形状）を生かした**グランドデザインとする。
2. 人工構造物ではない、**松林や植栽による飛砂対策**とし、子や孫の代まで長く造り育てることで、地域の財産となる松林を目指す。
3. 上記を達成するために、地域住民だけではない広い範囲で「呼びかけ」（**一般市民の参加**）を行う。



1. 「芦屋の里浜づくり」とは

～経緯～

技術検討会とは・・・

目的	芦屋の里浜を実現するために飛砂対策としての 松林の造成等に関する技術的課題 について検討を行うことが目的である。
内容	技術検討会は4回開催され、芦屋海岸に松林を形成するために必要な施工方法など技術的課題を検討し、整備計画が承認された。

実行委員会とは・・・

目的	松林を含めた砂浜を地域の恒久的な財産として、 広く市民と行政の協働により長期的に“育て” “守り” “活用” する方法 を検討することが目的である。
内容	実行委員会は、これまでに4回開催され、里浜づくりにおける地域住民の公共事業への参加を議論した。第4回実行委員会において、試験施工について議論を行い、試験植栽観察を実施している。

第 5 回 実 行 委 員 会 に つ い て

内容	これまでの技術検討会で創り上げた整備計画を基に、本年度より緑地整備に本格着手する。第5回実行委員会では、 整備計画を地元住民へ周知して植樹活動の住民参加の呼びかけ を行い、また、将来的に松林を 管理育成する方策・組織づくり について検討を行う。
----	--

2. 全体実施計画

～試験クロマツの観察記録～

～試験施工の概要～

実施日 : H24年3月11日
参加者 : 100名 (うち職員15名)
植栽本数 : スーパークロマツ400本
(全16区画×25本)



試験施工の植樹の様子



2. 全体実施計画

～試験クロマツの観察記録～

① H24.3
(植樹の様子)
樹高：約30cm



③ H25.7
(観察記録)
樹高：約70cm



② H24.6
(観察記録)
樹高：約50cm



④ H26.7
(観察記録)
樹高：約90cm



2. 全体実施計画

～試験クロマツの観察記録～

約30cm

代表写真 K-7

約70～120cm



H24/03/11 (0.30m)



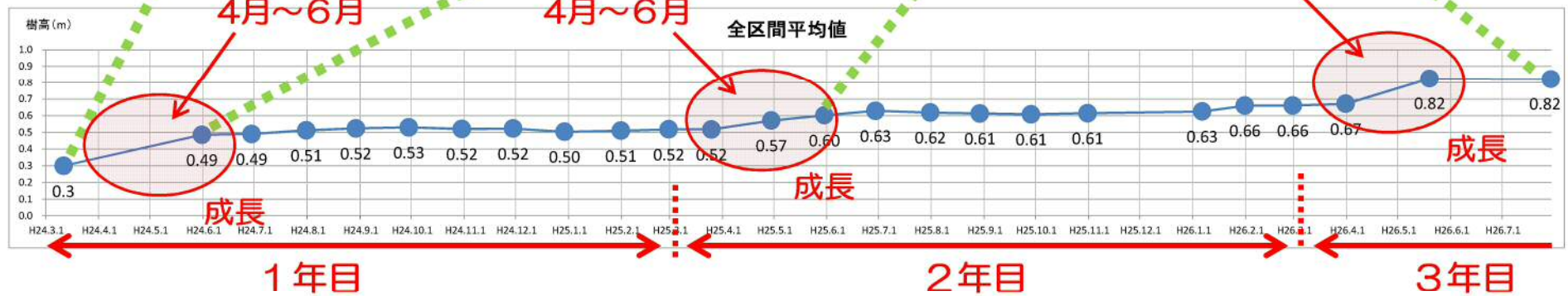
H24/5/31 (0.54m)



H25/05/30 (0.72m)



H26/07/29 (0.98m)



測定したマツの平均樹高

2. 全体実施計画

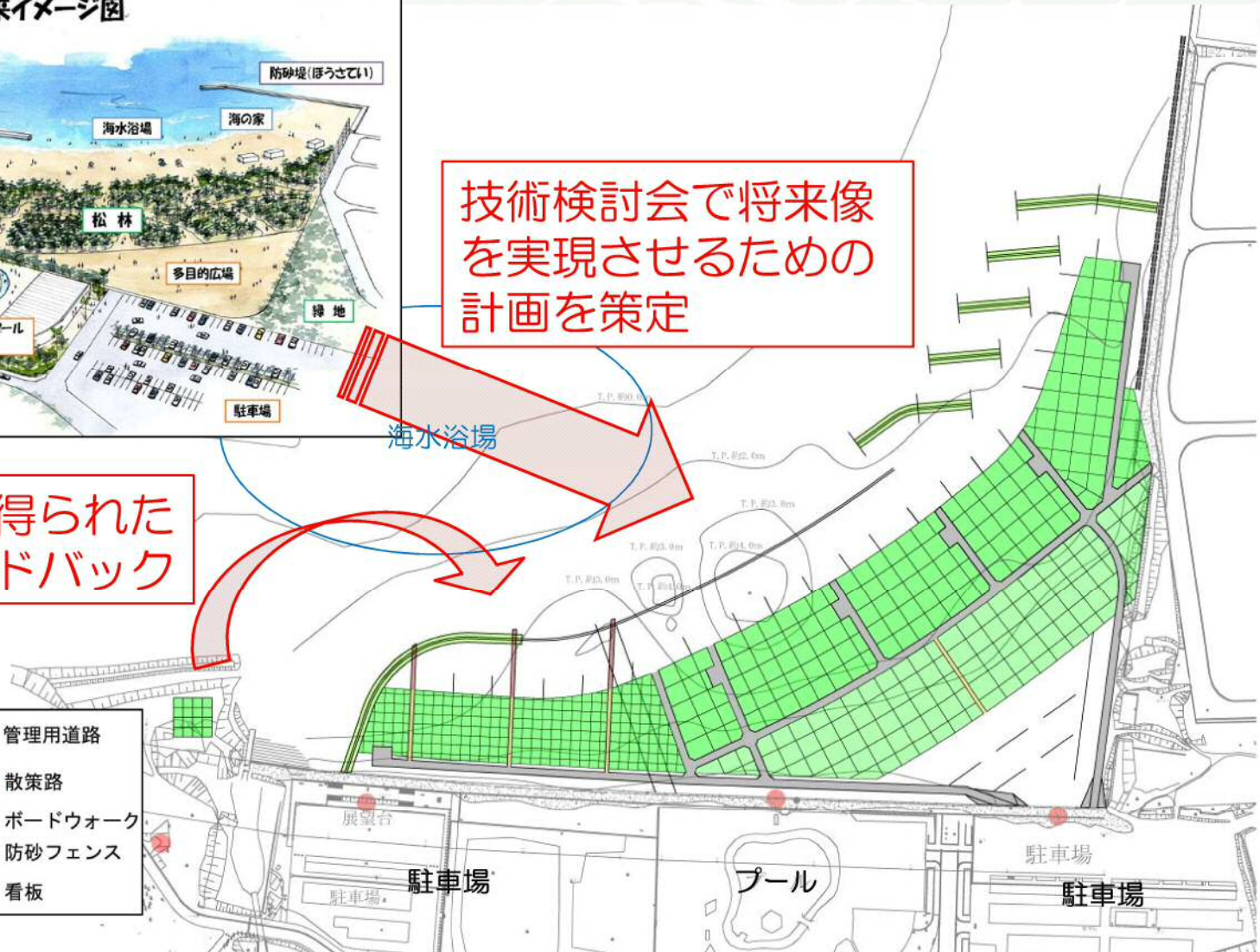
～全体計画～



技術検討会で将来像
を実現させるための
計画を策定

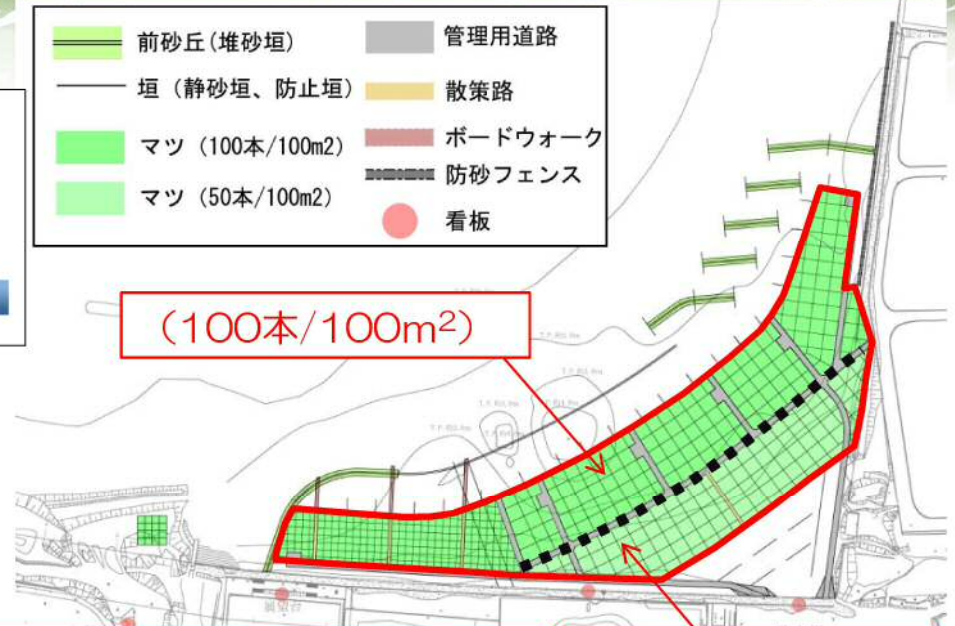
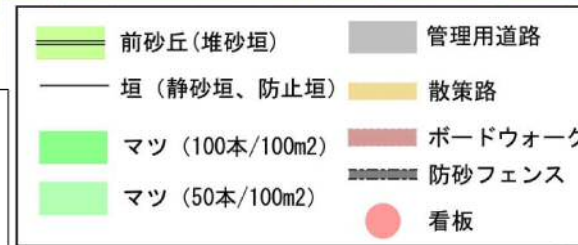
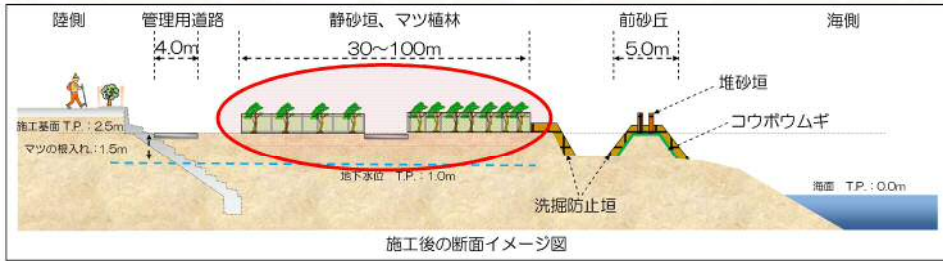
試験施工から得られた
知見をフィードバック

- | | |
|-----------------------------|---------|
| 前砂丘(堆砂垣) | 管理用道路 |
| 垣(静砂垣、防止垣) | 散策路 |
| マツ(100本/100m ²) | ボードウォーク |
| マツ(50本/100m ²) | 防砂フェンス |
| | 看板 |



2. 全体実施計画

～静砂垣・クロマツ植栽～



静砂垣と植栽クロマツ (イメージ)

植栽本数：約26,000本

(50本/100m²)



将来の本数：約640本 (2本/100m²)
(概ね40年後)

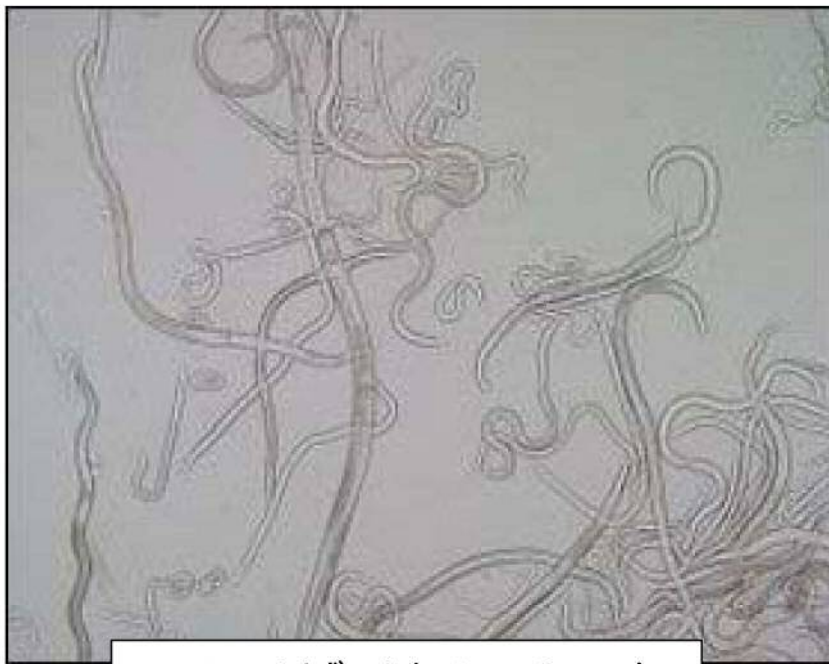
静砂垣

静砂垣はマツを植える箇所に竹などで方形の柵を設置してマツの生育できる環境を作り出すものである。

2. 全体実施計画

～スーパークロマツ～

スーパークロマツとは
弱い個体を除くために**接種**（線虫を苗木に接種してマツ材
線虫病に感染させる作業）を行い、接種後5ヵ月経過の健
全な個体がスーパークロマツとなる。



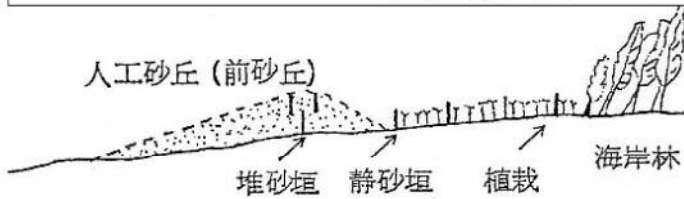
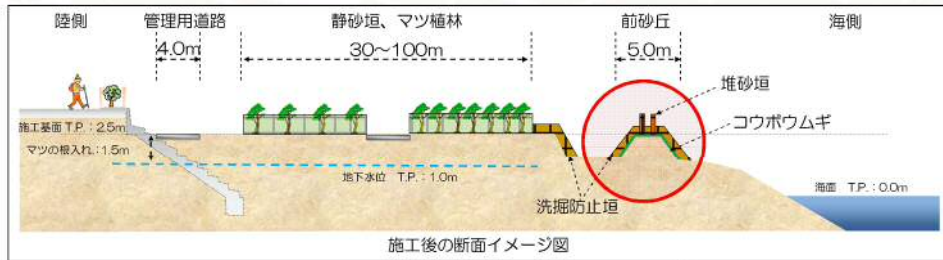
マツノザイセンチュウ



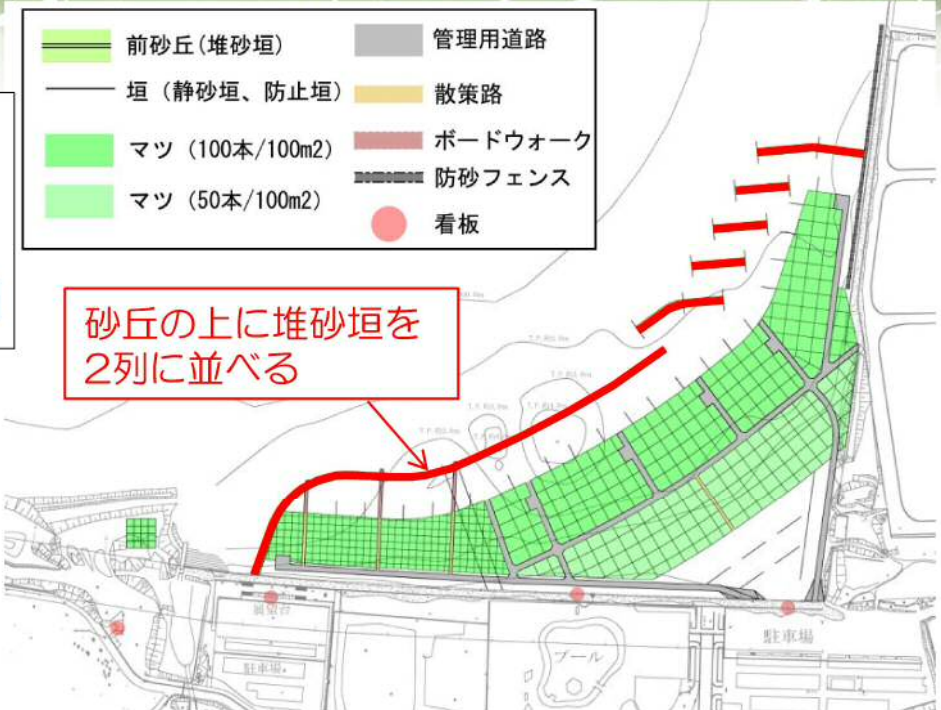
スーパークロマツ苗育成状況

2. 全体実施計画

～前砂丘・堆砂垣～



前砂丘と堆砂垣 (イメージ)

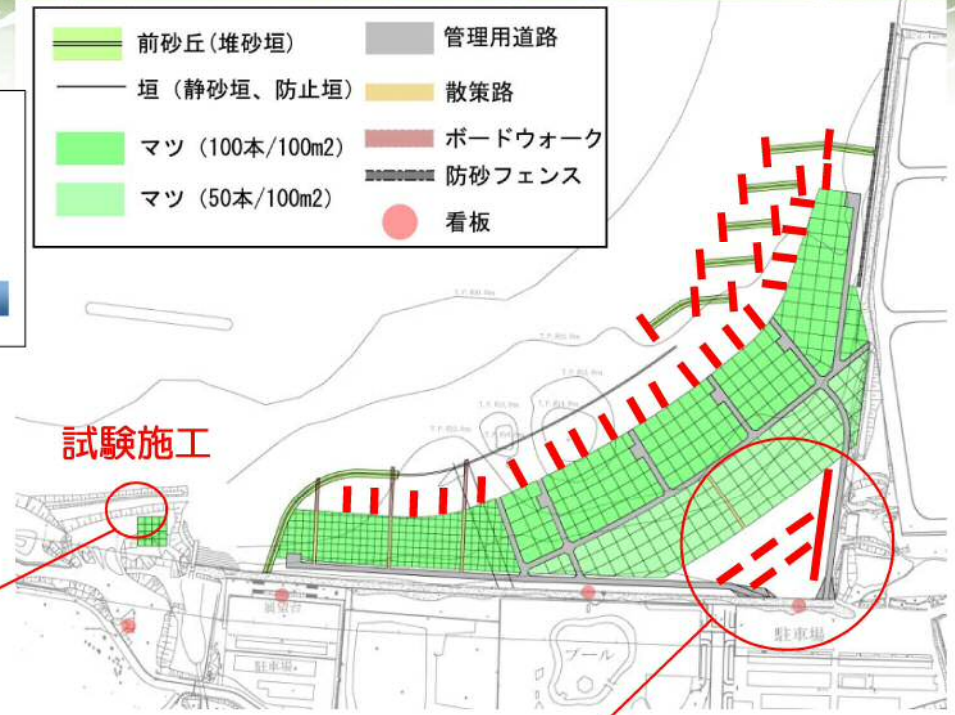
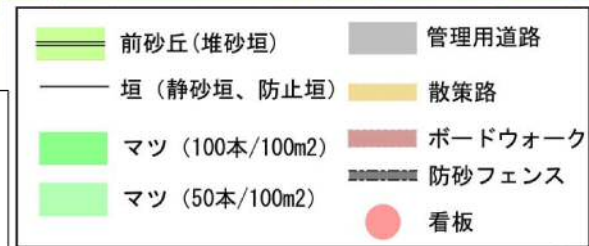
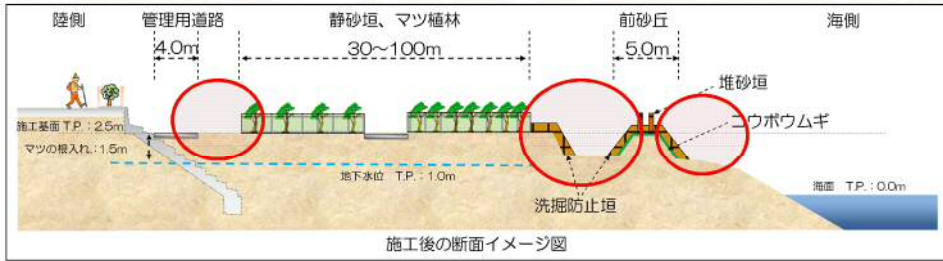


前砂丘と堆砂垣

前砂丘は、マツの植栽前面に砂丘を造成して、風を弱くしマツの生育環境を守るものである。前砂丘や堆砂垣がないと静砂垣に砂が溜まりやすくなり、マツが砂に埋もれやすくなる。

2. 全体実施計画

～防砂垣～



風を止める方向
に垣を設置



通り風により
洗掘される

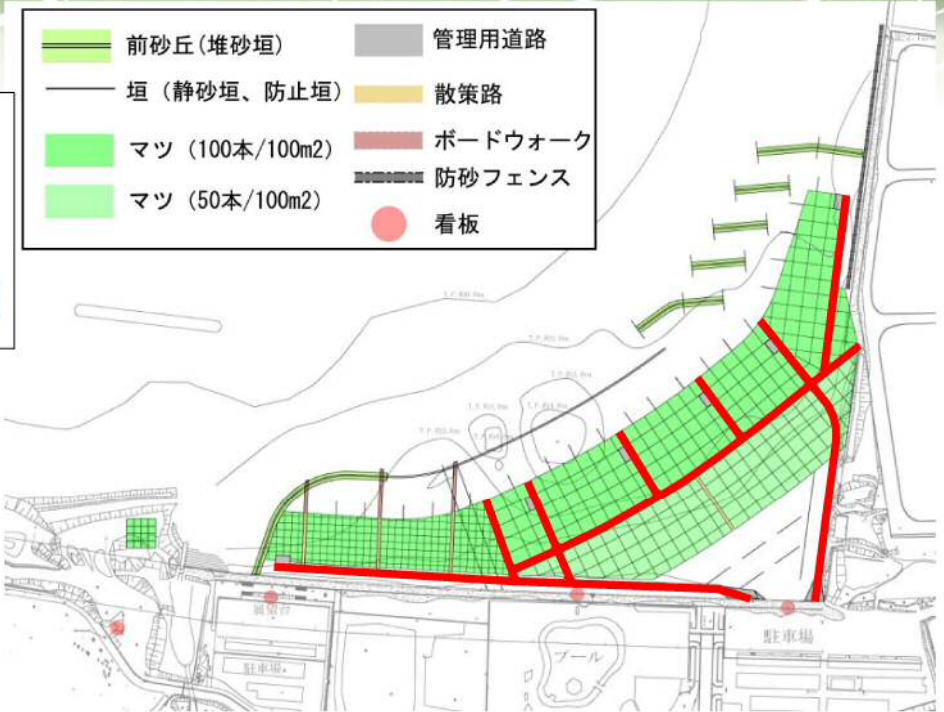
試験施工の洗掘箇所

洗掘防止垣・飛砂防止垣など
洗掘を受ける恐れがある箇所、飛砂・堆積が懸念される箇所に防止垣を設置する。

三角スペースからの飛砂抑制
のため垣を設置する

2. 全体実施計画

～管理用道路～



管理用道路 (イメージ)

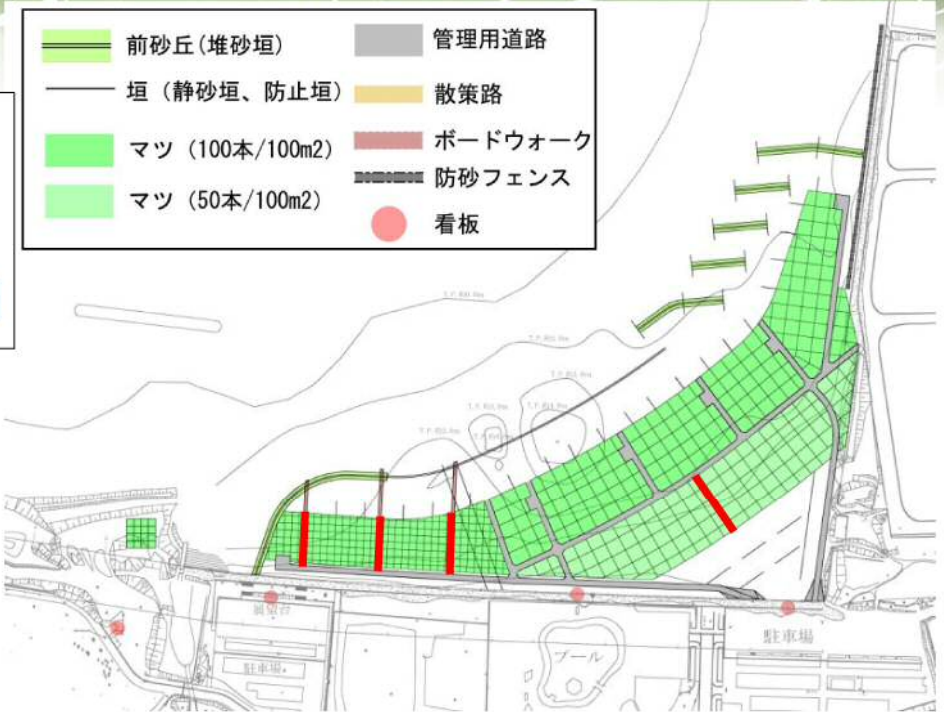
管理用道路

松林の育成・管理のための車両、緊急車両、海水浴の業務車両の通行などを目的とする。

自然系舗装：幅員約4m

2. 全体実施計画

～散策路～



散策路 (イメージ)

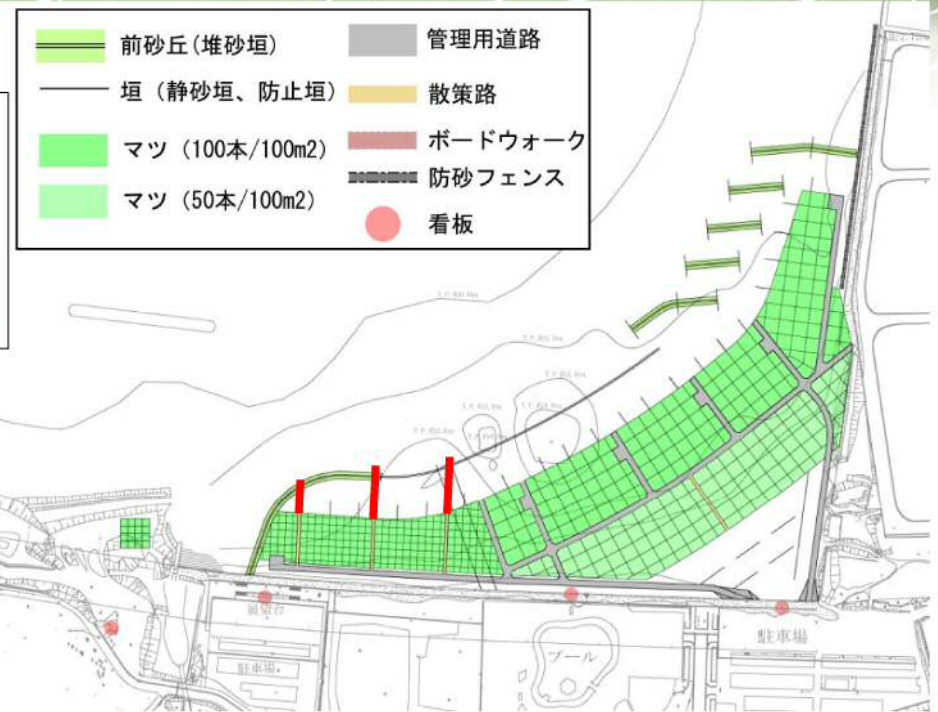
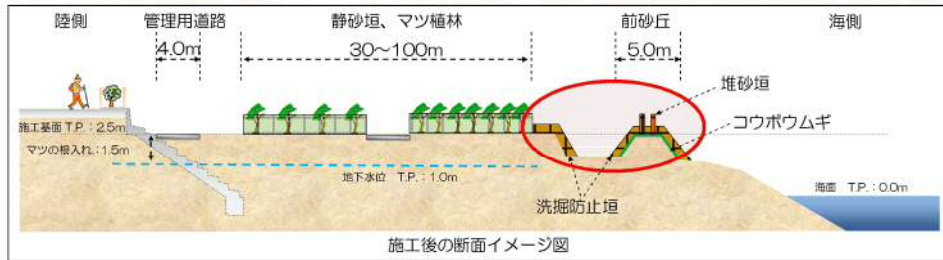
散策路

松林の中を散策するための小道を管理用道路を補完して配置する。

自然系舗装：幅員約2m

2. 全体実施計画

～ボードウォーク～



ボードウォーク (イメージ)

ボードウォーク

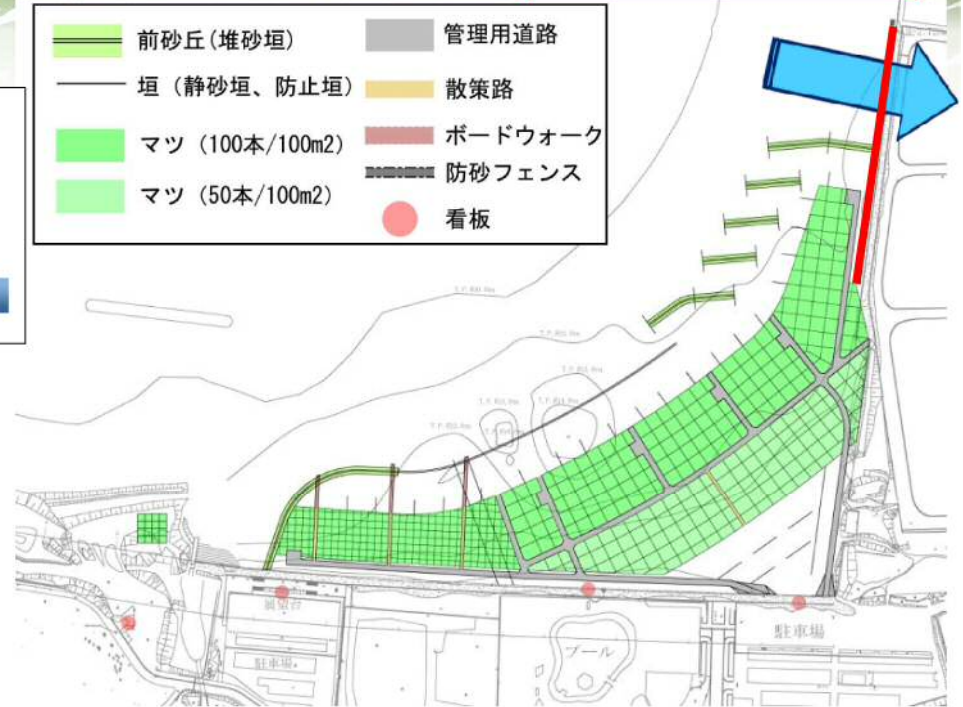
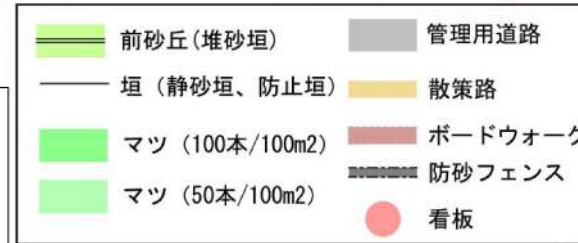
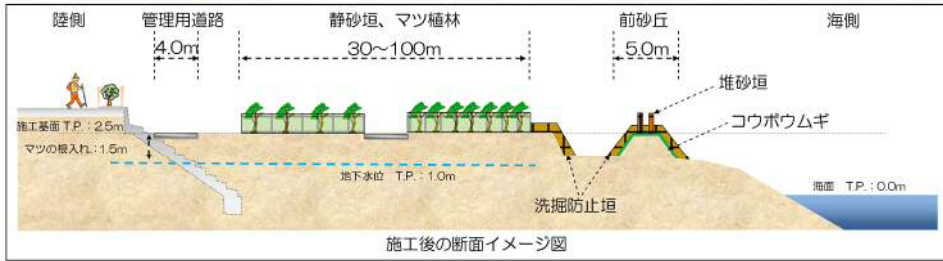
散策路より前砂丘を越え水際へアクセスするために配置する。階段形式で半樹脂製ウッドデッキを配置する。

幅員約2m

2. 全体実施計画

～防砂フェンス～

防砂堤付近から
港への飛砂抑制



防砂フェンス (イメージ)

防砂フェンス

防砂堤付近から芦屋港の方へ飛散する砂を軽減させる目的で緑地と港の間に設置する。

高さ：約3m 長さ：約185m

2. 全体実施計画










～工事施工計画～

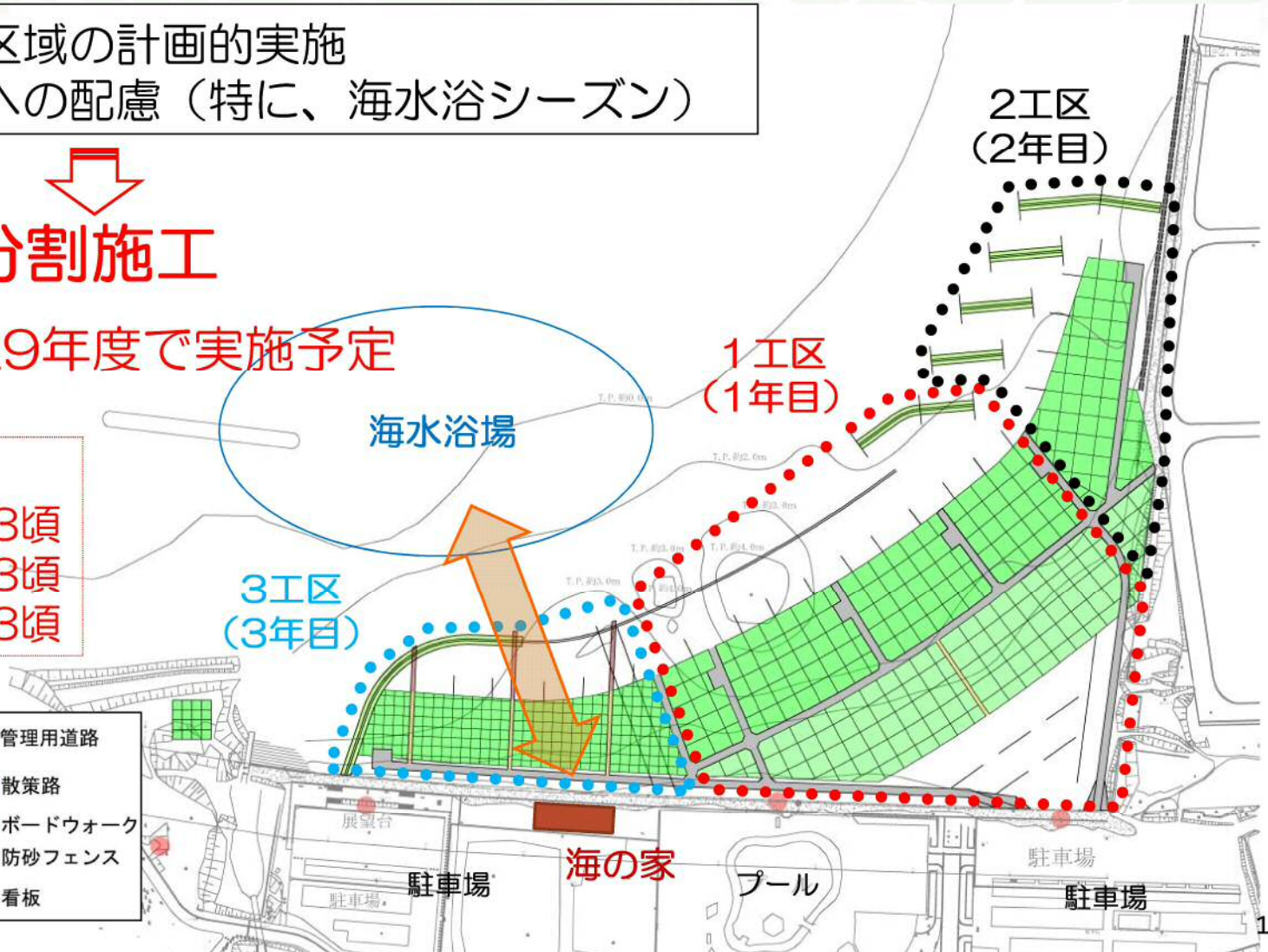
- ・ 広大な施工区域の計画的実施
- ・ 海岸利用者への配慮（特に、海水浴シーズン）

↓
分割施工

H26年～29年度で実施予定

植樹時期
1工区：H27.3頃
2工区：H28.3頃
3工区：H29.3頃

	前砂丘(堆砂垣)		管理用道路
	垣(静砂垣、防止垣)		散策路
	マツ(100本/100m ²)		ボードウォーク
	マツ(50本/100m ²)		防砂フェンス
			看板



3. 芦屋の里浜育成活動

どちらのマツ林が芦屋の里浜にふさわしいと思いますか？

なにも手入れしない場合



手入れした場合



参考：虹の松原、<http://www.env.go.jp/nature/satoyama/satonavi/method/pdf/2503.pdf>

近隣の事例を紹介する

3. 芦屋の里浜育成活動

～他の活動事例①～

三里松原防風保安林保全対策協議会

活動内容

植樹

(2月)

松葉がき

(12月)

除草清掃

(6月)

見回り

(通年)



主な活動箇所

状況写真



作業説明



松葉かきの様子



掻き取った松葉を搬出



松苗の植樹

参考：福岡県 平成25年度森林づくり活動公募事業の概要、その他関連HPより

3. 芦屋の里浜育成活動

～他の活動事例②～

さつき松原管理運営協議会

活動内容

植樹

(2月)

松枝拾い

(3月)

除草清掃

(6月)



主な活動箇所



参考：福岡県 平成25年度森林づくり活動公募事業の概要、その他関連HPより

3. 芦屋の里浜育成活動

～他の活動事例③～

はかた夢松原の会（NPO法人）

活動内容

植樹

(3月)

松葉かき

(11月)

間伐・枝打ち

(11月)



主な活動箇所

状況写真



松林の中をきれいにします



松葉かきも行いました



みんなで一生懸命植えました



参考：福岡県 平成25年度森林づくり活動公募事業の概要、その他関連HPより

3. 芦屋の里浜育成活動

～他の活動事例～

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
三里松原 防風保安林 保全対策協議会	清掃活動		(年間通じて見回り活動)						松葉がき	植樹		
さつき松原 管理運営 協議会	清掃活動		(エリア毎に里親を定めて年間を通じて環境美化活動)						松枝拾い		植樹	
はかた 夢松原の会 (NPO法人)	(年間を通じて様々な啓発活動や美化活動)						(植栽(花)活動)	松葉がき	間伐枝打	(植栽(花)活動)	植樹	

参考：福岡県 平成25年度森林づくり活動公募事業の概要、その他関連HPより



活動効果の
イメージ



3. 芦屋の里浜育成活動

～活動メニュー～

他の事例やこれまでの委員会の結果を踏まえた、**芦屋の里浜育成活動メニュー**を示す。

主に“**住民**”が行うこと

- ・ ゴミ拾い
- ・ 松葉がき
- ・ 見回り
- ・ クロマツの補植
- ・ 定期的なイベント など

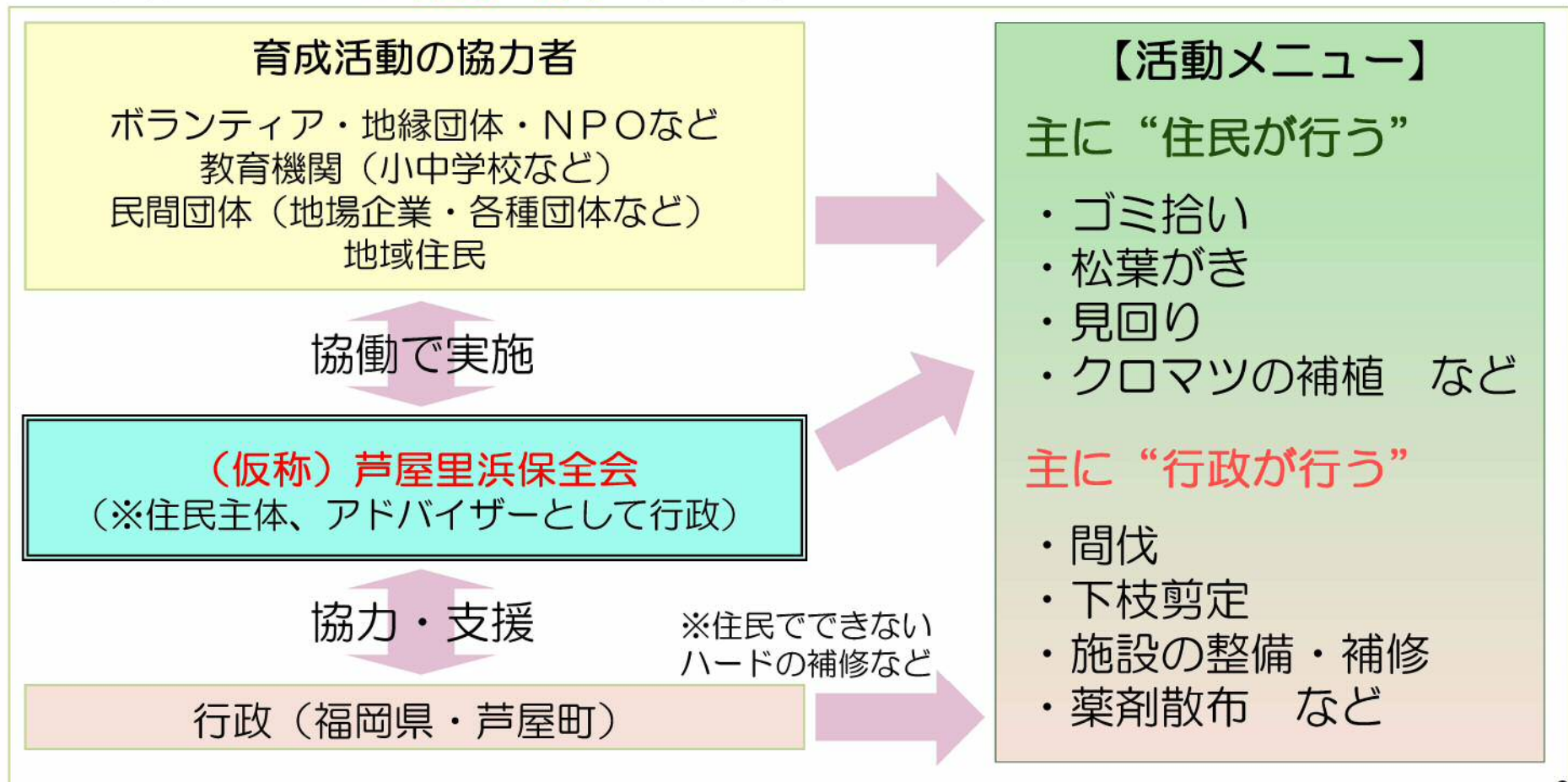
主に“**行政**”が行うこと

- ・ 間伐
- ・ 下枝剪定
- ・ 施設の整備・補修
- ・ 薬剤散布（松くい虫・毛虫）
- ・ マルチングの撤去
- ・ アキグミの除伐
- ・ 成長不良木の除去 など

3. 芦屋の里浜育成活動

～育成活動の全体像～

他の事例やこれまでの委員会の結果を踏まえた、芦屋の里浜育成活動を行うための**全体像（案）**を示す。



3. 芦屋の里浜育成活動

～育成活動（長期的）～

主に“行政”が行うこと

主に“住民”が行うこと

育成活動

施設の整備・補修

下枝剪定
薬剤散布
間伐

各種イベントの定期開催

ゴミ・雑草の除去 松葉がき、見回り

立派な松林になあれ！



松葉かきの様子



掻き取った松葉を搬出

理想のマツ林

マツの成長

4. 植樹の呼びかけ

植樹の呼びかけ方法（案）

- ・ 町役場、県土整備事務所にビラを配置
- ・ ホームページに掲載
- ・ 町内回覧
- ・ 小中学校に案内（掲示）
- ・ 現地看板に記載
- ・ 芦屋町の広報に折込み配布
- ・ 町内の各種団体への呼びかけ
- ・ 近隣・周辺の企業、他団体への呼びかけ

など

※）H27年3月頃クロマツの植樹（1工区）に着手予定。

4. 植樹の呼びかけ

(案)「芦屋の里浜づくり」

1. 「芦屋の里浜づくり」について

芦屋港の建設以降、港の西側部分には広大な砂浜が広がりはじめ、以前は歩いてすぐにとどろくことができた水際までの距離が100mを越えるところも見られます。また、堆積した砂が背後地へ飛び、問題を引き起こしています。



こうした背景を踏まえ、平成18年度～平成19年度の2年間にわたり『芦屋の里浜づくりワークショップ』を開催し、芦屋港海岸の理想の里浜像について話し合いました。かつての風光明媚な海岸であった芦屋港海岸を思い出し、自分たちの海岸という認識で「里浜づくり」に取り組んでいくことになりました。ワークショップで得られた里浜像は以下のとおりです。

- ◆現況の地形（砂浜の形状）を生かしたランドデザインとする。
- ◆人工構造物ではない、松林や植栽による飛砂対策とし、子や孫の代まで長くつくり育てることで、地域の財産となる松林を目指す。
- ◆上記を達成するために、地域住民だけでなく広い範囲で「呼びかけ」（一般市民の住民参加）を行う。

『芦屋の里浜づくりワークショップ』では、里浜を実現するなかで、松林を造成して飛砂の問題に対処することになりました。

平成20年度は、ワークショップの結果を受けて、芦屋の里浜を実現するために松林の造成等に関する技術的課題について検討を行う『技術検討会』ならびに、松林を含めた砂浜を地域の恒久的な財産として、広く町民と行政の協働により長期的に“育て”“守り”“活用”する方法を検討する『実行委員会』を設置しました。

これまで、技術検討会、実行委員会をとおして、今後の芦屋の里浜づくりについて議論を重ねてきました。

表1 芦屋の里浜づくりの経緯

会議名称	開催日
第1回 ワークショップ	平成18年12月18日
第2回 ワークショップ	平成19年1月20日
第3回 ワークショップ	平成19年2月17日
第4回 ワークショップ	平成19年9月8日
第5回 ワークショップ	平成19年11月17日
第6回 ワークショップ	平成20年3月15日
第1回 技術検討会	平成20年10月1日
第2回 技術検討会	平成20年12月3日
第1回 実行委員会	平成21年3月8日
第2回 実行委員会	平成21年3月21日
第3回 技術検討会	平成21年3月25日
第3回 実行委員会	平成23年3月17日
第4回 実行委員会	平成24年2月21日
第4回 技術検討会	平成26年1月8日



図1 ワークショップに基づいたイメージ図

植樹のご案内

マツの植樹に参加しませんか!



1. 目的

毎年冬になると、芦屋の海岸から風に乗って砂が陸に飛んできます。この砂を少しでも減らすために、海岸に〇〇本のマツを植えることになりました。

皆さんと一緒に、マツを植えて、その成長を見守りませんか♪

2. 日時（少雨決行）

開催日：未定
集合：未定
時間：未定
場所：未定

3. スケジュール

- ①駐車場に集合
- ②マツの植え方を説明
- ③マツを植える場所へ移動（※右図黄色の囲み部分）
- ④マツを植える（※マツの苗や植える穴を掘る道具などは用意してあります。）
- ⑤1時間くらいで終わり

4. 注意点

- 当日は、寒くない格好で来てね。
- コンタクトレンズの人はメガネの方が良いよ。

5. あったほうが良いもの

長靴、カッパ、タオル、軍手

6. ご家族の方へ

この植樹は、「芦屋の里浜づくり事業」の一環として福岡県が行っているものです。今後、松林の造成や管理を行うにあたり、地元の皆様には是非ご参加いただき、「芦屋の里浜づくり」を実施していきたいと考えておりますので、その際は皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

(お問い合わせ先)

北九州県土整備事務所 河川砂防課 砂防港湾係 担当：橋村、守田 TEL 093-691-2767



5. 飛砂調査

～調査地点～

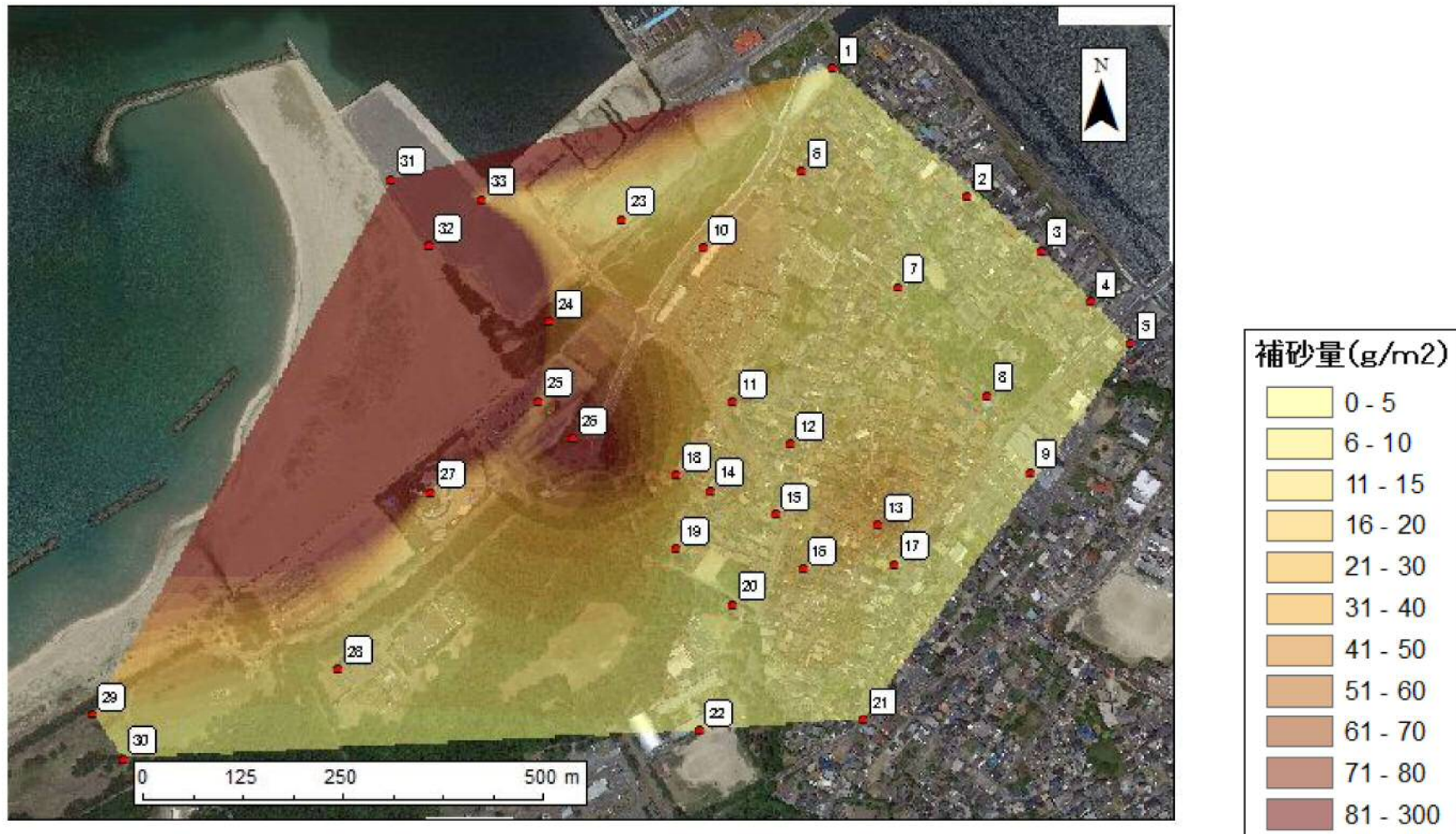
調査期間は、H25年11月28日～H26年2月28日。
12月末、1月末、2月末の月1回捕砂器に溜まった飛砂を計量した。



5. 飛砂調査

～調査結果～

12月末、1月末、2月末における3回の計量の平均値を示す。



6. 今後の予定

【工事（1工区）】

26年	9月～	基盤整備・前砂丘・堆砂垣 静砂垣設置など
27年	3月頃	クロマツ植樹

【実行委員会】

27年	2月頃	第6回実行委員会 開催 「植樹についての説明」
-----	-----	----------------------------



おわり